

資源評価調査委託事業

マガレイ

伊藤欣吾・和田由香・小谷健二・三浦太智・田中友樹・長野晃輔

目 的

青森県日本海側におけるマガレイの漁獲量と年齢組成を調べて資源量を推定し、資源動向を明らかにする。なお、本調査は、水産庁の我が国周辺水産資源調査・評価等推進委託事業の一環として実施した。

材料と方法

1. 漁獲統計調査

青森県日本海沿岸 9 漁業協同組合・支所（小泊、下前、十三、鱒ヶ沢、新深浦町漁協本所、風合瀬、深浦、新深浦町漁協船作支所、新深浦町漁協岩崎支所）を対象に 2018 年の月別・漁法別・銘柄別のマガレイの漁獲量と金額を調べて 1993 年以降の漁獲データベース¹⁾に加え、漁獲動向を解析した。また、新深浦町漁協本所と風合瀬漁協では、マガレイ単独の銘柄は無く、マガレイを含む数種類のカレイ類が混じった「小カレイ」銘柄として扱われているため、盛漁期の 1-3 月に 4 箱（1 箱 4kg 入り）を購入して魚種別重量を測定し、「小カレイ」銘柄に含まれるマガレイの混入率を求め、マガレイの漁獲量を推定した。

2. 魚体測定と年齢査定

2018 年に漁法別に各銘柄 50-100 尾程度の標本を採集し、体重（1g 単位）の測定、生殖腺の色彩と形状の観察による雌雄判別及び耳石横断面薄片観察²⁾による年齢査定を行い、各銘柄の雌雄別の年齢組成を調べた。年齢起算日は、産卵期が 3-4 月³⁾とされているが、暦年集計による資源尾数を推定するため 1 月 1 日とした。標本は、定置網（底建網含む）分を 1-3 月に新深浦町漁協本所から、沖合底曳網分を 10 月に深浦漁協から購入した。なお、刺網分の標本については、2015 年まで新深浦町漁協岩崎支所から購入していたが、2016 年以降は水揚げがなかったため購入できなかった。

3. 資源尾数と再生産成功率の推定

資源尾数の推定は、伊藤ら²⁾の方法に従って 2003-2018 年の雌雄別年齢別漁獲尾数を用いて VPA (Virtual Population Analysis) により行った。再生産成功率の推定は、伊藤ら²⁾の方法に従い、雌の親魚量（トン）に対する翌々年 2 歳魚資源尾数（千尾）の比を再生産成功率（尾/kg）として求めた。

結果と考察

1. 漁獲動向

2018 年における漁協別漁法別銘柄別の漁獲量、「小カレイ」銘柄の魚種組成を付表 1、付表 2 に示した。青森県日本海側のマガレイの年間漁獲量は、1993 年の 96 トンから 1996 年の 46 トンまで急減し、その後緩やかに減少した後、2012 年以降 20 トン前後であった（図 1）。漁獲量の幅を 3 等分して上から順に高位、中位、低位として漁獲水準をみると、2018 年の漁獲量は 17 トンで低位水準であった（図 1）。漁獲量を漁法別にみると、刺網では 1993 年以降 1-10 トンの範囲で変動し、沖合底曳網では 1995 年に大きく減少した後に 2-17 トンの範囲で大きく変動、定置網（底建網含む）では 2001-2002 年に急減した後に 7-20 トンの範囲で大きく変動しており、漁法によって漁獲動向が異なっていた（図 1）。

日本海におけるマガレイは、新潟県から青森県沿岸の日本海系群⁴⁾と北海道北部系群に分かれて資源評価が行われている。マガレイ日本海系群の 1993 年以降の漁獲量は、1996-1997 年に大きく減少した後、220-400 トンの範囲で変動しながら横ばい傾向であったが、2012 年以降減少し、2017 年に 122 トンで過去最低

となった（図2）。県別にみると新潟県が最も多く漁獲量全体の5割程度を占め、次いで秋田県、山形県または青森県の順であった。青森県日本海側の漁獲動向は、新潟県-秋田県のそれと同様の傾向を示した。

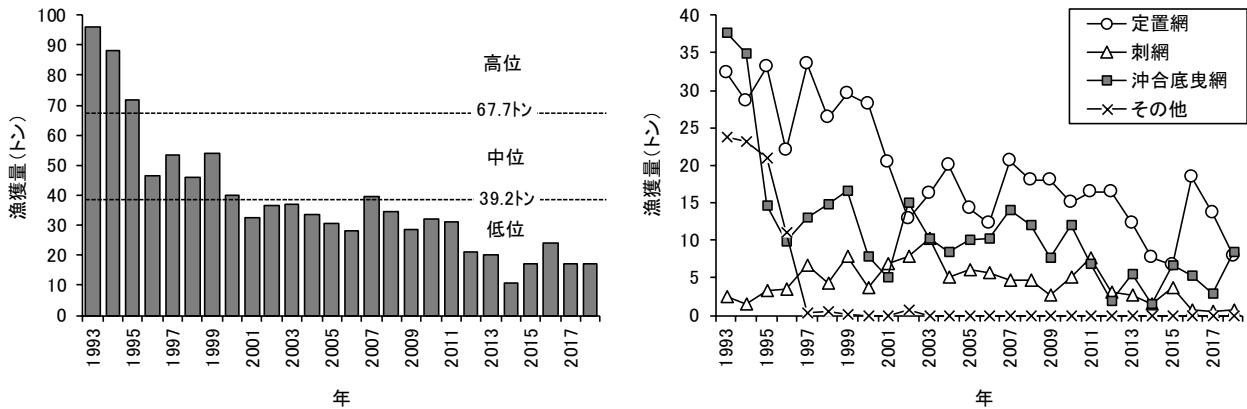


図1. 青森県日本海側におけるマガレイの漁獲量(左図)と漁法別漁獲量(右図)の推移

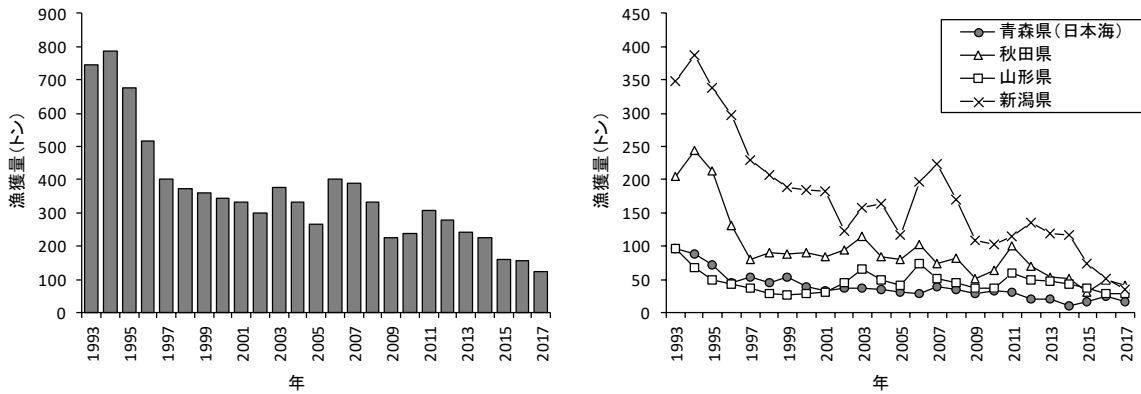


図2. 新潟県-青森県日本海におけるマガレイの漁獲量(左図)と県別漁獲量(右図)の推移 (水産庁発行の魚種別系群別資源評価より)

2. 年齢別漁獲尾数

2018年の漁法別銘柄別の平均体重と雌雄別年齢比率（付表3）及び漁獲量（付表1）から雌雄別年齢別漁獲尾数を算出した（図3、付表4）。2018年の年齢別漁獲尾数を前年と比較すると、3歳魚では雄が182%、雌が502%に増加した。2003年以降の年齢組成をみると、雌雄ともに2-4歳魚が主体に漁獲されていた。

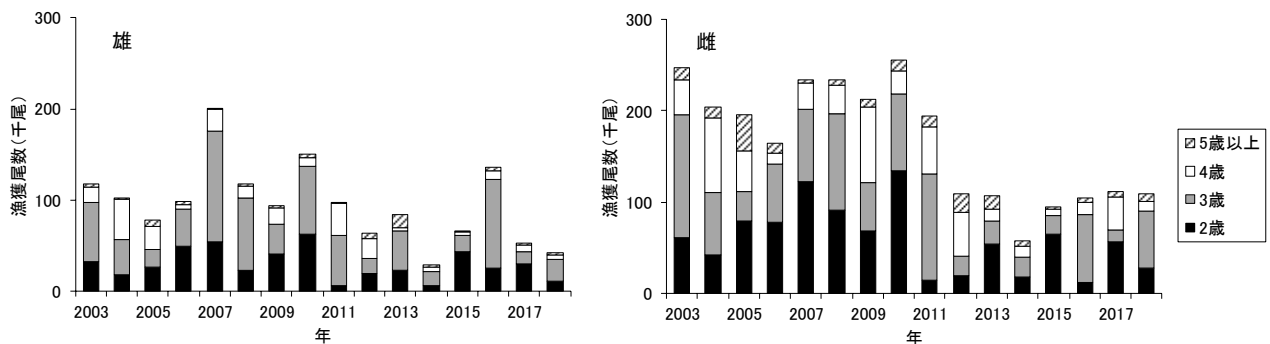


図3. 青森県日本海側におけるマガレイの年齢別漁獲尾数の推移(左図:雄、右図:雌)

3. 資源尾数と再生産成功率

2003–2018年の雌雄別年齢別漁獲尾数を用いてVPAにより雌雄別年齢別資源尾数、資源量及び雌の親魚量を求めた(付表5)。資源尾数は、雌雄ともに2011年以降減少し、2015年に増加に転じたが、その後雄が減少、雌が横ばいとなっていた(図4)。資源量は、2011–2014年に減少し、2015年に増加した後、横ばいとなっていた(図5)。雌の親魚量と加入量の経年変化を図6に示した。雌の親魚量は、2011–2014年に減少し、2015年に増加した後、横ばいとなっていた。加入量は、2005年と2008年生まれが多く、2009–2012年、2014年及び2016年生まれが少なかった。雌の親魚量と加入量との間に明瞭な関係は認められなかった(図7)。再生産成功率は、2013年、2005年の順に高く、2009–2012年が他の年に比べて低かった(図8)。なお、VPAでは近年の推定値の信頼性が低いことから⁵⁾、2016年の再生産成功率についてはデータを蓄積して再評価する必要がある。

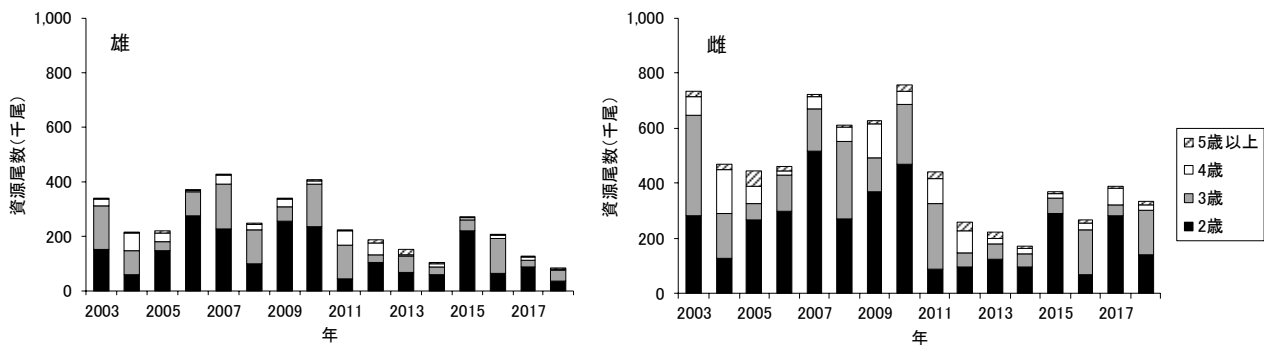


図4. 青森県日本海側におけるマガレイの年齢別資源尾数の推移(左図:雄、右図:雌)

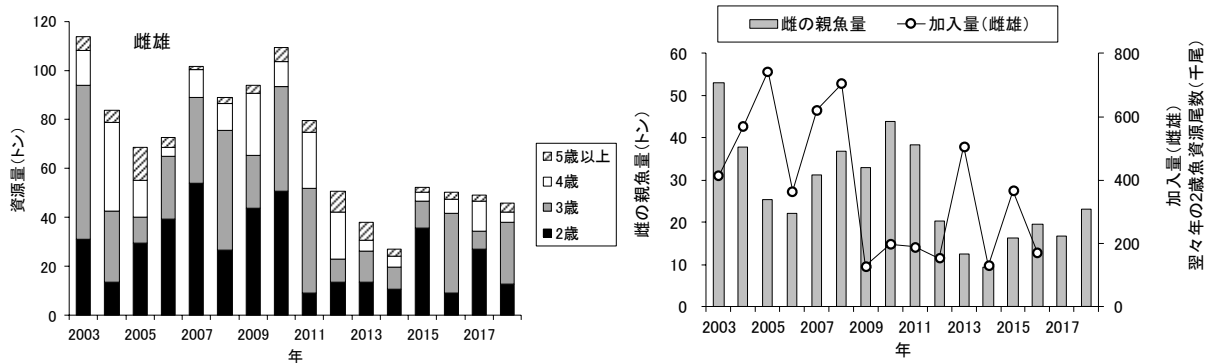


図5. 青森県日本海側におけるマガレイの年齢別資源量の推移

図6. 青森県日本海側におけるマガレイの雌親魚量と加入量の経年変化

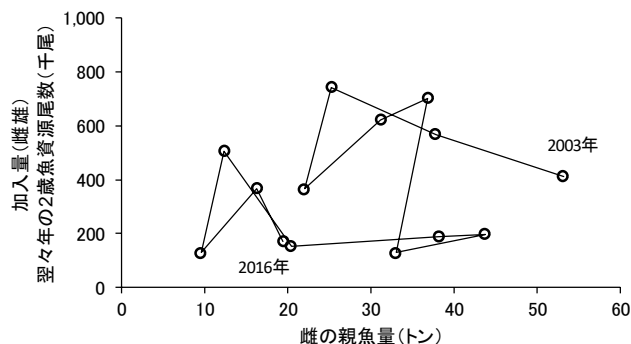


図 7. 青森県日本海側におけるマガレイの雌親魚量と加入量との関係

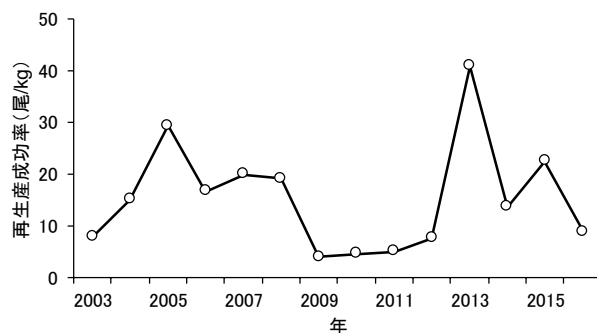


図 8. 青森県日本海側におけるマガレイの再生産成功率の経年変化

文 献

- 1) 伊藤欣吾・和田由香・竹谷裕平・三浦太智・田中友樹・長野晃輔（2019）資源評価調査委託事業マガレイ．平成 29 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告，48-53.
- 2) 伊藤欣吾・和田由香・三浦太智・山中智之（2015）青森県沖日本海におけるマガレイの成長・成熟・資源量．青森県産業技術センター水産総合研究所研究報告，9，1-14.
- 3) 青森県（1991）平成 2 年度広域資源培養管理推進事業報告書．青森県，pp51.
- 4) 飯田真也、藤原邦浩、八木佑太、井関智明（2019）平成 30 年度マガレイ日本海系群の資源評価．「我が国周辺水域の漁業資源評価（魚種別系群別資源評価・TAC 種以外）．第 3 分冊」水産庁増殖推進部・国立研究開発法人水産総合研究センター，東京，2027-2046.
- 5) 平松一彦（2001）VPA（Virtual Population Analysis）．「平成 12 年度資源評価体制確立推進事業報告書－資源解析手法教科書－」社団法人日本水産資源保護協会，東京，104-128.

付表 1. 2018 年の漁協別漁法別銘柄別のマガレイ漁獲量

														単位:kg	
漁協	漁法	銘柄	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
十三	定置網	込み	3.8	3.2	6.6	9.0	0.2	0.4							23.2
鯉ヶ沢	沖合底曳網	大	1.8					55.6			116.8	129.6	60.8		364.6
		中						25.8			442.2	19.4	7.2		494.6
		小						8.8			152.0	1.0			161.8
	定置網	込み	4.0	0.4		4.2	6.2	19.2			8.0		10.4	0.2	52.6
		込み	70.0	103.3	175.8	31.9	50.1	0.4						2.0	433.5
		込み				552.4	12.8	0.6							
新深浦町(本所)	定置網	小カレイ	1,046.0	1,248.2	1,666.8	866.9	186.2	61.8	31.4	7.6		0.2	10.0	274.1	5,399.2
	刺網	小カレイ				30.1	1.4	0.7	2.9	0.7	0.1				35.9
風合瀬	定置網	小カレイ	248.3	139.2	193.9	56.0	10.6	0.5					0.2	15.1	663.6
深浦	沖合底曳網	特									203.3	251.8	54.0	12.3	521.4
		大	7.8	2.1				6.0			884.2	1,064.6	507.4	79.0	2,551.1
		中	15.9				0.2	1.5			1,100.6	883.3	511.0	90.6	2,603.1
		小	40.0	0.2							826.8	458.6	364.5	92.4	1,782.5
		込み		0.5	0.3		3.4	11.4							15.6
	定置網	大	5.1	3.5											8.6
		小	24.1	3.6											27.7
		込み	18.0	9.4	23.1	5.7									56.2
		込み	0.4			0.6	5.4	1.2							7.6
		刺網	込み												
新深浦町(岩崎支所)	刺網	込み	1.3			0.5								22.8	
合計		2,468.0	1,624.2	2,149.3	1,569.7	283.7	212.2	34.4	8.3	3,734.0	2,808.5	1,525.5	610.0	17,027.8	

※「小カレイ」銘柄の漁獲量は、付表2のマガレイ比率を乗じて得たマガレイ漁獲量の推定値

付表 2. 新深浦町漁協本所の「小カレイ」銘柄の 2018 年の魚種組成(左表)とマガレイ比率(右表)

		単位:g												
漁獲月日	2018年	2018年												
	1月17日	3月15日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マガレイ	9,057	9,363	0.85	0.88	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69
マコガレイ	135	358	0.25	0.68	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69
ムシガレイ	837	238	0.25	0.88	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69
ヤナギムシガレイ		113	0.85	0.88	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69
ソウハチ		51	0.25	0.88	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69
合計	10,029	10,123	0.85	0.88	0.76	0.56	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.69

-: 1997~2001年各月の平均値
-: 1994~2001年の6~11月の平均値
- =====: 直近3か年の平均値
- |||||: 2016年4月の値を代用(2016年4月6日からムシガレイを除く規格に変更された)
- |||||: 直近月の値を代用

付表 3. 2018 年の漁法別銘柄別の平均体重と雌雄別年齢比率

漁法	銘柄	標本漁協漁獲量kg	標本尾数	標本平均体重g	雄比率						雌比率					
					1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上
定置網	小カレイ	5,429	186	99	0.00	0.02	0.27	0.04	0.03	0.00	0.00	0.02	0.46	0.09	0.08	0.01
沖合底曳網	特	521	63	257	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.84	0.08	0.03	0.02
沖合底曳網	大	2,551	37	226	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.78	0.19	0.00	0.03
沖合底曳網	中	2,603	69	123	0.00	0.04	0.01	0.03	0.00	0.00	0.00	0.42	0.45	0.04	0.00	0.00
沖合底曳網	小	1,783	56	79	0.00	0.32	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.59	0.04	0.00	0.00	0.00

付表 4. 青森県日本海側における雌雄別年齢別漁獲尾数

漁獲尾数(雄) 単位:千尾						漁獲尾数(雌) 単位:千尾					
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計	年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
2003	33	64	18	4	118	2003	61	135	38	13	248
2004	18	38	45	2	103	2004	42	68	82	11	204
2005	27	19	24	8	79	2005	79	32	45	39	196
2006	49	41	4	4	99	2006	78	64	12	11	165
2007	54	122	23	0	199	2007	123	79	29	3	234
2008	23	79	13	3	118	2008	91	105	31	6	234
2009	41	33	18	2	94	2009	68	54	82	8	213
2010	62	75	9	4	150	2010	135	84	25	12	255
2011	6	55	35	1	97	2011	15	116	52	12	195
2012	19	17	22	5	64	2012	19	21	49	19	109
2013	23	43	4	14	84	2013	55	24	13	15	107
2014	7	15	6	2	29	2014	18	22	12	6	58
2015	43	18	4	1	66	2015	65	21	7	3	95
2016	26	97	10	3	136	2016	12	74	13	5	105
2017	31	13	7	2	53	2017	57	12	37	6	112
2018	12	24	4	2	42	2018	28	63	11	8	109

付表 5. 青森県日本海側におけるマガレイの VPA による資源尾数、資源量、雌親魚量 (計算体重と成熟率は伊藤ら²⁾を引用)

資源尾数(雄) 単位:千尾						資源尾数(雌) 単位:千尾					
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計	年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
2003	152	159	23	5	340	2003	283	364	65	22	734
2004	59	86	65	3	213	2004	128	161	158	21	468
2005	148	29	33	11	220	2005	265	60	62	55	442
2006	273	89	5	5	371	2006	296	132	17	16	461
2007	228	164	31	0	423	2007	514	156	44	5	720
2008	97	126	18	3	244	2008	268	283	50	9	610
2009	254	54	26	2	336	2009	368	124	123	12	627
2010	235	157	12	5	408	2010	468	220	47	23	758
2011	42	124	54	1	221	2011	87	237	93	21	438
2012	104	27	46	11	187	2012	94	53	78	31	256
2013	65	62	5	19	151	2013	124	54	21	24	223
2014	58	29	10	2	100	2014	95	46	20	10	171
2015	218	39	9	3	269	2015	288	56	16	7	367
2016	61	128	14	4	207	2016	68	162	24	9	264
2017	86	24	12	3	125	2017	281	41	58	9	389
2018	34	38	7	4	83	2018	137	163	20	14	334

漁獲係数F(雄) 単位:g						漁獲係数F(雌) 単位:g					
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計	年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
2003	0.288	0.615	2.072	2.072		2003	0.286	0.555	1.140	1.140	
2004	0.443	0.695	1.541	1.541		2004	0.478	0.670	0.904	0.904	
2005	0.236	1.499	1.904	1.904		2005	0.421	0.970	1.716	1.716	
2006	0.231	0.773	3.900	3.900		2006	0.360	0.812	1.627	1.627	
2007	0.316	1.936	1.930	1.930		2007	0.321	0.868	1.406	1.406	
2008	0.316	1.287	1.894	1.894		2008	0.497	0.558	1.278	1.278	
2009	0.203	1.254	1.552	1.552		2009	0.239	0.690	1.479	1.479	
2010	0.362	0.797	2.246	2.246		2010	0.402	0.577	0.914	0.914	
2011	0.188	0.719	1.348	1.348		2011	0.217	0.828	1.027	1.027	
2012	0.240	1.323	0.811	0.811		2012	0.272	0.620	1.256	1.256	
2013	0.526	1.578	2.010	2.010		2013	0.710	0.712	1.227	1.227	
2014	0.138	0.875	1.202	1.202		2014	0.245	0.784	1.231	1.231	
2015	0.259	0.743	0.746	0.746		2015	0.298	0.567	0.641	0.641	
2016	0.669	2.062	1.600	1.600		2016	0.234	0.749	0.983	0.983	
2017	0.527	1.014	1.100	1.100		2017	0.267	0.430	1.294	1.294	
2018	0.485	1.273	1.148	1.148		2018	0.266	0.582	0.973	0.973	

計算体重(雄) 単位:g					計算体重(雌) 単位:g				
年	2.5歳	3.5歳	4.5歳	5.5歳	年	2.5歳	3.5歳	4.5歳	5.5歳
2003	60	86	105	116	2003	78	134	185	225

資源量(雄) 単位:トン						資源量(雌) 単位:トン					
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計	年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
2003	9	14	2	1	26	2003	22	49	12	5	88
2004	4	7	7	0	18	2004	10	22	29	5	66
2005	9	2	3	1	16	2005	21	8	12	12	53
2006	16	8	1	1	25	2006	23	18	3	4	48
2007	14	14	3	0	31	2007	40	21	8	1	70
2008	6	11	2	0	19	2008	21	38	9	2	70
2009	15	5	3	0	23	2009	29	17	23	3	71
2010	14	13	1	1	29	2010	37	29	9	5	80
2011	3	11	6	0	19	2011	7	32	17	5	61
2012	6	2	5	1	15	2012	7	7	15	7	36
2013	4	5	1	2	12	2013	10	7	4	5	26
2014	4	3	1	0	7	2014	7	6	4	2	20
2015	13	3	1	0	18	2015	22	8	3	2	34
2016	4	11	1	0	17	2016	5	22	4	2	34
2017	5	2	1	0	9	2017	22	5	11	2	40
2018	2	3	1	0	6	2018	11	22	4	3	39

成熟率(雌)				
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上
2003	36%	84%	94%	100%

親魚量(雌) 単位:トン					
年	2歳	3歳	4歳	5歳以上	計
2003	8	41	11	5	65
2004	4	18	27	5	54
2005	8	7	11	12	37
2006	8	15	3	4	30
2007	15	18	8	1	41
2008	8	32	9	2	50
2009	10	14	21	3	48
2010	13	25	8	5	51
2011	2	27	16	5	50
2012	3	6	14	7	29
2013	4	6	4	5	19
2014	3	5	3	2	14
2015	8	6	3	2	19
2016	2	18	4	2	26
2017	8	5	10	2	25
2018	4	18	4	3	29